

参加者の声を示す、新たな学びの可能性

「女性リーダー育成プログラムの実体験を通じた変化と成長の声」



プログラムに参加する前は、「女性だから」という理由も含め、どこかに限界を作り、「制約の中で決断し、なんとかすること=経営」にかかわる覚悟が足りなかったんだと気づかされた。

(キッセイ薬品工業 柳さん)

共通言語をもって様々な視点から情報交換ができる仲間は、成長と学びを継続すると言う点でとても重要。

すでに管理職にある女性社員だけでなく、意欲のある社員に可能性を提示するという意味でプログラムの参加者は広く社内に募集してほしい。

(キッセイコムテック 半戸さん)

リアルケーススタディを通し、視座を高くして考えたことにより、自分の考え方や、やりたいことの実現、またチャレンジできることも増え仕事にやりがいを感じる事ができると思った。

(野村ユニソン 石吾さん)

「リアルケーススタディ」の取り組みが一番影響を受けました。受講者自身のもつ仕事上の課題に対して「経営者目線になり自分事として考える」ということを念頭に置き、グループで何度も話し合いを重ね、解決策をまとめました。仕事に対する考え方が変化したとともに、受講メンバーとの絆も深まったと感じています。

(松本信用金庫 前田さん)

知識だけではなく、まず色々な結果を想定しながら行動に移すことで、最悪のケースにも対応できるようになる。

その為に常に目標を置き、そこに向かっていくつかのパターンを設定し修正を繰り返す事を学びました。

(長野銀行 尾臺さん)

まずは「やってみよう」と言える自分自身の強みを見つけることができました。この研修に参加したことは、私にとって「転機」になったと思います。

とてもとても、楽しい研修でした。

(アルピコホテルズ 松澤さん)

組織を良くするためにどうするかという事を考える中で、ただ声を出すだけではなく、仕組みを考え変えていくことを考えたいという思考が出てきた。

それぞれの人の行動特性を考え、それに合わせた声かけや対応をしていくことが必要であることが学べた。

(八十二銀行 鈴木さん)

日頃考えたこともなかった「経営者」の視点で物事を考えることができた。仕事上の課題とビジョンから、そのギャップを埋めていくような施策を考える癖をつけることができた。

(信濃毎日新聞 山崎さん)

DEI推進が求められる中でも県内で働く女性に会う機会は少ないです。このプログラムでは意欲的な仲間と出会い、会社や自身が抱える問題の本質や解決策を、視座を高めて徹底的に学べます。頑張りたいという思いがあれば、会社規模や年齢を問わず参加できます。

この「カルミヤ」の輪がさらに広がることを期待しております。

(ミールケア 郷道さん)



女性リーダー育成プログラム

参加企業

キッセイ薬品工業・キッセイコムテック・長野銀行・八十二銀行・松本信用金庫、アルピコホールディング 信濃毎日新聞・ミールケア・野村ユニソン、株式会社丸一商事、宮原デザイン企画



女性のためのキャリアデザインセミナー（女性リーダー育成プログラムの姉妹セミナー）

次のリーダー候補や若い世代の女性を対象に、将来の自分の姿を思い描き、グループワークを通じ自信を獲得することを目的としたセミナーです

参加企業（第1回：令和6年9月～ 第2回：令和6年10月～ 第3回：令和7年5月～）

アルピコホテルズ株式会社、アルピコ長野トラベル株式会社、キッセイ商事株式会社
キッセイ薬品工業株式会社、サスナカ通信工業株式会社、安曇野市役所、株式会社長野放送（NBS）
株式会社アイネット、株式会社アルスター、株式会社テレビ松本ケーブルビジョン、株式会社ミールケア
松本ハイランド農業協同組合、松本信用金庫、信濃毎日新聞社、大和証券(株)、長野銀行
八十二銀行、明治安田生命保険相互会社、野村ユニソン株式会社、野村證券